総合学習「岡田米PR大作戦」

Ｈ１９年度　５学年　５４名　作成

栄養満点のＥＭぼかし肥料

岡田小学校では，英俊さんが作る無化学肥料を使っています。この肥料を使っても米に悪影響はなく、稲そのものが丈夫になります。さらに病気になりにくく、虫もつきにくくなります。

この無化学肥料は、微生物（ＥＭ菌）・大麦粉・魚粕・エゴマ・海草・たい肥・米ぬか・豆腐かす・サンゴ粉末，おからなどを加えて発酵させていきます。この肥料のことを「ＥＭぼかし肥料」と言っています。

ＥＭぼかし肥料は、化学肥料とは違い肥料成分が少なく，とても稲や野菜には物足りないように感じますが、牛の糞から作るたい肥とＥＭぼかし肥料をまくことで､バランスよく育ちます。この二つの肥料のおかげで栄養の点では心配ないので大丈夫です。

岡田米づくりでは，たい肥は約１００キログラム、ぼかし肥料が約３０キログラム使用しています。

実は農家では、肥料を作るのが大変です。豆腐かすは豆腐屋からもらっていて、魚粕は、魚のしぼったかすを魚屋からもらっているそうです。無化学肥料は､必要ないものを発酵させてできたものなので､環境にも優しくていいです。英俊さんは「肥料を作り出すのも工夫とおもしろさがある」と言っていました。

ぼかし肥料の他に米ぬかを水田にまくことをします。米ぬかは有機質肥料にもなり，水田の雑草を酸欠状態にしておさえることができます。米ぬかは白米にする時にでます。だから環境にも優しく、一石二鳥です。しかも簡単に手に入れられるし、お金もかからないのでいいと思いました。

＜農薬を使う・使わない＞

殺菌剤・ぼうふ剤・殺虫剤などの農薬は主に害虫や病気の予防を目的として、大量に使用されています。農薬は、人間に対して毒性をもつため、健康被害などが発生します。

健康被害の症状は、呼吸困難・せき・下痢・おうと・胃痛などで､とても危険です。岡田小学校では､農薬は使っていません。

害虫・雑草・病気などを予防したりする薬を使わないでお米を育てることは､安全なお米を作ることになります。そのため、安全・安心してお米を食べることができます。

＜ 農薬を使わずに病気になりにくくする工夫＞

岡田小学校ではたくさんの肥料を多くあたえないことと、英俊さんが作った肥料を使うことで病気になりにくくしています。